

らんる ～襦袢に包まれて～

原真理子 (Mariko Hara)

～作家メッセージ～

古布を活かしてリメイク。襦袢(らんる)に包まれた
“らんるっ子”たち。日常生活で使われてきた
藍木綿(あいもめん)。古布襦袢(こふらんる)の
魅力を感じていただけたら幸いです。

2026
1/16 [金]



2026
5/15 [金]



襦袢(らんる)

「ぼろ」とも読みます。

江戸時代以前から布が貴重品であった寒冷な地方などで、古い布や端布を継ぎ接ぎ(つぎはぎ)や
刺し子(さしこ)で補修しながら大切に長く使ってきた衣類や布製品を指す言葉として使われます。
この伝統的な布は、現代では「BORO」として海外でも美術的価値が評価されています。

プティ・ギャラリー

ウッドワンさくらびあ1F はつかいち市民図書館横通路
〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11-1
【お問合せ】はつかいち美術ギャラリー TEL0829-20-0222

はつかいち美術ギャラリー 公式 SNS

